

私立 千葉商科大学

取組名称 **企業との信頼構築に基づく千葉商科大学キャリア教育支援戦略**

取組担当者 **商経学部 教授・キャリア教育センター長 山本 恭裕**

1. 本学等の概要

千葉商科大学（CUC）は、わが国ビジネス界・教育界を支える有為な人材の育成に努力してきた。1928（昭和3）年創立の巣鴨高等商業学校から巣鴨経済専門学校、千葉商科大学へと発展し、現在は商経学部（商学科・経済学科・経営学科）、政策情報学部（政策情報学科）、サービス創造学部（サービス創造学科）、大学院商学研究科・経済学研究科・政策情報学研究科修士課程、会計ファイナンス研究科専門職学位課程、政策研究科博士課程の3学部5研究科体制となっている。

現在の学生数は、学部6,376名、大学院227名の合計6,603名である。

建学の祖・遠藤隆吉は、「治道家」の育成を目的とし、そのための「実学」を強調した。今日、本学はこの理念を21世紀の文脈で再解釈し、実学を効果的に身につけるための学びのシステムを取り入れている。三言語（自然言語、人工言語、会計・データ言語）教育、半学半教の制度、生涯キャリア教育、環境教育、ネットワーク環境、国際交流等により、主体的に問題発見・問題解決のできる「明るく、優しく、たくましい」人材を育成している。

これらの実現のため、商経学部及び政策情報学部のカリキュラム改革、制度改革を推進し、2009（平成21）年にサービス経済化の進展を支える多様なサービス分野を創造する人材を革新的な教育方法で育成するサービス創造学部を設置し、新たな21世紀型の大学教育を展開している。

2. 本取組の概要

本取組は、学生が入学直後から将来の目標を持って社会や企業に興味を持ち、働くことの大切さや働き甲斐を理解してキャリア形成を意識して学び、卒業し就職した後も自己のキャリア向上のため就業意欲を持ち続けられる人材育成を目的とするものである。

その柱の一つは、本学と協力関係にあるアライア

ス企業との連携である。アライアンス企業とは、社会に有為な人材育成のため本学の学生教育に協力・支援をしていただいている企業のことであり、フォーラムやカフェ等の交流を通じて学生の職業観・就職観の醸成を手助けしていただくとともに、最も身近な就職先の候補企業でもある。この支援態勢を発展させるため企業訪問を強化し、新たなアライアンス企業の開拓に注力し裾野を広げる活動を行っている。このような活動によって、本学と企業との長期の持続的な信頼関係を築き、企業内容を熟知した上で、学生に効果的な就職指導を行っていくことができる。

大学・企業・地域の相互依存型社会の創出

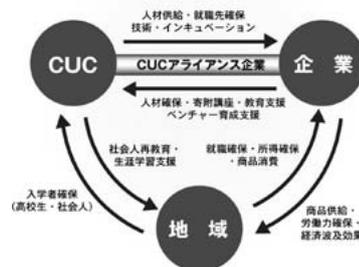


図1 本学と企業、地域との連携

本取組の二つ目の柱は、一人ひとりの学生に対する、実社会で活躍できる人材となるために必要な基礎的資質向上への支援である。低学年からの全学的なキャリア教育プログラムによって、社会を知り将来のキャリアデザインを描いた学習が可能となる。また、ゼミ毎にキャリア教育課職員及びキャリアカウンセラーをキャリアサポーターとして配置し、就職活動の流れを理解させ、最新の企業の採用情報等を伝えている。キャリアサポーターは情報提供だけでなく、一人ひとりの学生の就職活動状況を的確に把握し指導を行っている。

また、トワイライトコースとして学部での授業と連携した実社会で役立つ資格取得講座を開設し、将来の目標を持って学ぶことを推進している。さらに、様々な地域や企業との連携によって、大学での学びの社会への還元を実践してきている。

三つ目の柱は、卒業生を含めた就職支援の取組である。卒業生への求人情報の提供・就職支援だけでなく、

卒業生に対する継続的就職満足度調査を行い、ミスマッチによる就職後早期の離職・転職を防ぐための適切な就職支援のあり方を探っている。

3. 本取組の趣旨・目的・達成目標

(1) 取組の趣旨・目的

本取組は、本学と協力関係にあるアライアンス企業を中心とした企業との長期的・持続的な信頼関係の構築を図り、企業との連携を柱とした人材育成と適職への就職支援を実現することにある。学生に有益な情報の提供、効果的な就職支援を行っていくためには、企業への継続的な訪問活動を行い、企業と大学との人的なつながりを強化する必要がある。

その上で、学生が入学直後から学内・学外における企業との様々な交流を通して働くことの意義を学び、基礎学力・専門知識の修得だけでなく職業観や勤労観を育成し、卒業し就職した後も社会に貢献し自己を高める意欲を持ち続けられる満足度の高い就職を実現することを目的としている。

(2) 達成目標

まず、本取組の中核となるアライアンス企業訪問、新規アライアンス企業開拓により企業との信頼関係の充実を図り、アライアンス企業フォーラムの実施等によって、学生とアライアンス企業との密接な情報交換の場を提供して双方の理解を深め、就職先を拡大して本学学生の就職率の向上につなげていく。学生が企業関係者とフラクにコミュニケーションできるキャリア・カフェの実施、及び学内会社説明会の開催で、多くの学生と企業とが個別相談の機会を活用して情報交換することにより、学生と企業とのニーズのマッチングを実現する。また、これらアライアンス企業との連携活動を通じて、キャリア教育センター職員が就職支援における職員の役割の重要性に対する意識改善を図ることもでき、今後の学生及び企業のニーズにマッチした就職支援への効果を高められる。

学生の就職活動のフォローアップとしては、就職支援及び資格取得講座を実施し、学生のスキルアップ支援を行う。講座の受講により、学生のキャリア形成及び就職に対する意識の向上が図られ、学生が就職活動に自信を持って臨むことができる。キャリアデザインガイド、キャリア教育センター利用ガイド、就職手帳(CUC就職ノート)を作成・配付することにより、学生の就職意識の向上を図るとともに、学生の就職活動

の支援を充実させることができる。

キャリアカウンセラーによる個別の学生に対するキャリア相談・就職相談を年間を通じて実施することで、学生の就職活動支援、メンタル面のケアを行い、キャリア形成及び就職に対する問題や悩みの解消につなげている。さらに保護者相談会を開催することで、保護者の就職への関心を高め、保護者からの支援を得ることにより、学生の就職に対する意識及び就職率のさらなる向上を目指している。

卒業生に対しても、就職情報システムを改修してWebを通じて求人情報や企業情報等の提供を行うことで就職支援を充実させることが可能となる。なお、就職情報システムの整備により、就職データの統計機能を充実させ、就職支援活動全体の向上が期待できる。

卒業し就職した後も意欲を持ち続けられる就職支援を実施するため、卒業生に対する就職満足度調査を行い、本学学生と企業とのマッチングを行う際の基礎データとして活用する。本調査結果を本学におけるキャリア教育支援の取組の改善に反映し、学生の満足度の高い就職につなげることが期待できる。

4. 本取組の具体的内容・実施体制

(1) 取組の具体的内容

本取組は、企業との信頼構築に基づく企業情報の収集、企業への学生紹介、学生と企業とが直接情報交換を行える場の提供の一層の充実・発展を目指すものであり、具体的内容は以下のとおりである。

(i) アライアンス企業を中心とした企業との連携

①アライアンス企業訪問、新規アライアンス企業開拓

職員が積極的にアライアンス企業訪問を行うことにより、職員が企業の理解を深め、企業側がどのような人材を求めているかを把握し、学生に情報発信を行うことが可能となる。また本学の取組に理解を求め、新たにアライアンス企業に加わっていただける企業の開拓を推進している。こうした企業への働きかけを通じて、企業との信頼関係を構築し、アライアンス企業フォーラムへの参加や会社説明会への多くの企業の参加に結びつけている。より多くの企業の生の情報を学生に提供し、さらに学生を企業に直接紹介していくことで、学生と企業とのニーズのマッチングを行っている。

企業との信頼関係に基づいて就職先を拡大することにより、就職率を上昇させる。それとともに職員が就職支援における職員の役割の重要性に対する意識の改善を図ることができ、今後の学生及び企業のニーズに

マッチした就職支援への効果を高めていく。

②アライアンス企業フォーラム

理事長、学長の主導によるアライアンス企業フォーラムを開催し、学長による企業との連携の理念や本学の教育方針を説明するとともに、企業の人事担当者の講話やOBの体験談、人事担当者による模擬面接、業界研究会などの各種プログラムを企画し実施している。同時に、多くのアライアンス企業と学生とが直接に濃密な情報交換を行える個別相談の場を提供している。



写真1 アライアンス企業フォーラムでの業界研究会

保護者にもアライアンス企業フォーラムの案内を送り、参加した保護者を対象に保護者相談会を実施している。保護者に対し就職状況の説明や企業情報の提供等を行い、保護者の関心を高めることによって、学生の就職活動に対する保護者からの支援も得られる働きかけを行っていく。これらにより、学生の就職に対する意識の向上及び就職率の向上につなげる。

③キャリア・カフェ



写真2 学生ラウンジでのキャリア・カフェ

キャリア教育センターの出店として多くの学生の集まる学生ラウンジでキャリア・カフェを開催している。本学OBを含めた企業関係者と学生がフランクにコミュニケーションを図れる場である。学生は気軽に企業の方々から就職活動における助言を受け、学生の就職活動の理解と改善に生かしている。

④学内での業界研究会・会社説明会

学生の業界及び企業への理解を図るために、3年生の冬から業界研究会、引き続いて会社説明会を開催している。企業別にブースを設け、就職に結びつける学生と企業との情報交換の場を積極的に提供している。参加学生に対しては事前に心構えとマナーの研修を行っている。多くの学生と企業とが情報交換する機会を

設けることにより、学生と企業とのニーズのマッチングを実現させることができる。



写真3 学内会社説明会

(ii) 学生の資質向上の取組

①キャリアデザインガイドの作成

将来の目標を設定するための手引きとして、1、2年生に対しキャリアデザインガイドの配付を行うことにより、低学年から就職に対する意識付けを行い目標を持った勉学を促していく。

②キャリア教育センター利用ガイドの作成

キャリア教育センターのサービス内容を紹介し学年を問わず気軽に利用できる利用ガイドを配付する。低学年からより多くの学生がキャリア教育センターを訪問・相談するように働きかけ、学生への就職支援を充実させ就職率の向上につなげる。

③就職手帳（CUC就職ノート）の作成

就職手帳を3年生に配付することにより、学生が就職活動に必要な知識、心構えを周知するとともに、習慣としてメモを取り、スケジュール管理や企業情報の整理などに活用させるようにする。

④キャリアカウンセラーによるキャリア・就職相談

年間を通じて就職等に関して学生が抱える問題、悩み等にキャリアカウンセラーが親身になって相談を受けることで、学生の就職活動支援、メンタル面のケアを行い、学生のキャリア形成及び就職に対する問題や悩みの解消につなげる。

⑤就職支援及び資格取得講座

各種講座を実施し、就職に向けて学生がスキルアップを行うための支援を行う。具体的には、業界研究、企業研究の仕方、エントリーシート・履歴書の書き方、面接試験対策等の就職支援講座や簿記、公務員試験対策、英検等の資格取得講座を開講する。早期に翌年度の資格取得講座のパンフレットを作成し、計画的な学びを促している。これらによって、学生のキャリア形成及び就職に対する意識の向上が図られる。

(iii) 卒業生への支援体制の整備

①就職情報システムの整備

システム改修を行い、Webを通じて卒業生への求

人情報・企業情報の提供を行うことで、卒業生への就職支援を充実させる。また、就職データの統計機能を充実させることで就職支援活動の向上につなげる。

②卒業生就職満足度調査

卒業生に対するアンケート調査を行い、学生が卒業し就職した後も意欲を持ち続けられているかを把握し、今後本学が学生と企業とのマッチングを行う際の基礎データとして活用する。また本調査結果を本学におけるキャリア教育支援の取組の改善に反映し、学生の満足度の高い就職につなげる。

(2) 取組の実施体制

本取組の実施は、キャリア教育センター（事務組織：キャリア教育課）を中心に行われる。理事長、学長主導でアライアンス企業を中心とした本取組は統括されている。アライアンス企業フォーラム、キャリア・カフェ、学内会社説明会、各種就職講座、資格取得講座等はキャリア教育センターが企画・運営を行う。

キャリア教育プログラムは、教員の主体的な取組として各学部を通して実施されている。

5. 本取組の評価体制・評価方法

本取組に関する学内の評価体制として、理事長、学長、学部長、各部長及び学外理事等によって構成される戦略会議、CUC発展戦略委員会及び学部長会において実施状況及び成果の報告がされ、評価が行われる。

評価においては、就職希望者に対する就職者数で表される就職率の向上だけでなく、全卒業者の進路把握を行い、進学を除いた卒業生全員に対する就職者数の割合を向上させることも目標とする。企業と本学との長期的な信頼関係に基づく本取組の性格上、これらの評価は短期的ではなく、中長期的な視点から行われる。

さらに、卒業直後及び卒業後3年、5年、10年経過した卒業生に対する就職満足度調査を行うことで、本取組の継続的な評価を行っていく。

6. 本取組の実実施計画等

本取組の目的を達成するため、アライアンス企業訪問及び新規アライアンス企業開拓、アライアンス企業フォーラムの開催、保護者相談会の開催、キャリア・カフェの実施、会社説明会の実施、キャリアカウンセラーによるキャリア相談・就職相談、就職支援及び資格取得講座の実施、キャリア教育センター利用ガイド

作成、就職手帳（CUC就職ノート）作成、卒業生に対する就職満足度調査の実施は継続的に行われる。

さらに、学生の満足度の高い就職実現のために、この他、Webやメール配信による情報提供、学生情報データベースの活用、未就職卒業生への求人情報提供、内定取消問題への対応等の多様な支援を行っていく。

(1) 2009(平成21)年度の実実施計画

本取組の2009(平成21)年度においては、アライアンス企業との信頼関係の構築とアライアンス企業の新規開拓を図ることが目的である。職員による数回以上の同一企業への訪問による生の企業情報の収集、企業への学生紹介の積極的実施を行う。また、年2回のアライアンス企業フォーラムや会社説明会等の開催により、学生に対する企業との情報交換の場の提供を充実させ、学生への効果的な就職支援を図る。

また、卒業生の就職支援のための就職情報システムの改修を行う。2009(平成21)年度は卒業生就職満足度調査の準備として、調査用紙の作成を行う。

(2) 2010(平成22)年度の実実施計画

2010(平成22)年度は、アライアンス企業との強固な信頼関係の構築のための企業訪問等を行っていく。また、学生のアライアンス企業への訪問や工場見学等も行う。その上で、企業訪問で得られた最新の企業情報を、ゼミを通じて全3年生、4年生の学生に的確に伝えると同時に、学生の就職活動状況をリアルタイムで把握するための仕組みを整備する。

前年度卒業生に対する就職満足度調査を実施し、その分析によって、満足度の高い就職実現のための有効な就職支援策を見出す。さらに卒業生に対する就職支援の充実のため、卒業後3年、5年、10年を経た卒業生に対する就職満足度調査を実施する。

(3) 2011(平成23)年度の実実施計画

2011(平成23)年度は、アライアンス企業との信頼関係に基づき、起業家の育成なども視野に入れた社会人としての資質を備えた人材育成の仕組みを確立するための新たな産学の連携及び企業間連携を構築する。

また、卒業後3年、5年及び10年経過した卒業生への就職満足度調査の分析を行う。これらの結果を在学生のキャリアデザイン教育として学習及び就職意識の向上に利用するとともに、卒業後の卒業生の就職支援における方策の検討に生かしていく。